

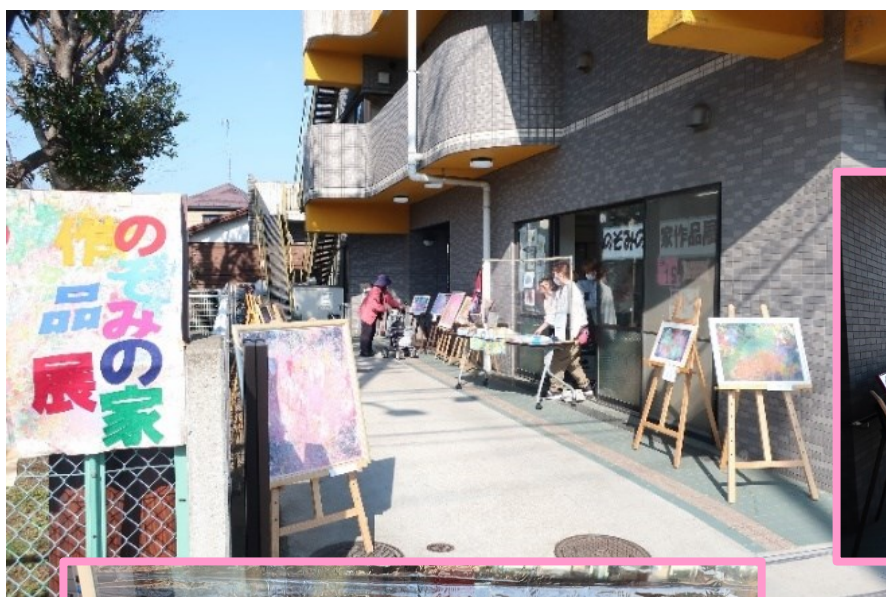
SSKU

2023年度

お元気ですか？

春号

イリアンソスです。



Page2 理事長の散歩道

Page3 特集「2023年 わたしの抱負」

Page7 活動報告

連載

理事長の散歩道

⑳

「新しい年の始まり」

社会福祉法人イリアンソス 理事長 磯部光孝

4月1日に4年ぶりに市内の連絡会メンバーと花見をするこ
とができました。今年の桜も開
花が例年よりも早く、桜が残っ
ているか心配していましたが、
当日はよく晴れ桜も満開の中、
40人あまりの家族が集まって
くれました。この市内の連絡会
の正式名称は「東久留米市障害
児者関係者連絡会(通称「連絡
会)」です。設立は2005年
4月で、その目的は、世代を超
えて障害のある子ども・大人、
その家族そして関係者、それぞ
れの想いや情報を交換し共有し
ながら、東久留米でより豊かな
生活が送れることをめざし、み
など親睦を深めることです。ち
ょうど現在の「障害者総合支援
法」の前身の「障害者自立支援
法」が2006年に成立する前
年度に連絡会が発足したので、
18年の歴史があることになり
ます。

18年の連絡会のニュースに
は、乳幼児期ではわかくさ学園
の利用負担の値上げや学園の移
転のことなどの情報を共有した
り、学齢期では学校卒業後の就
職を支援する障害者就労センタ
ーの設置の必要性を訴えました。
成人期では、先ほどの「障害者
自立支援法」の施行を前に様々
な混乱の中、障害のある人たち
の生活をしっかりと伝えていくこ
との必要性をみんなで話し合い
ました。いまから振り返るとな
かなか頼もしい活動をしてきた
なと思います。しかも、201
6年の活動センターかなえの新
たな施設づくりについても、み
んなで応援してもらったことが
できました。本当にひとりでは
できないことも世代を超えた集
まりのなかで、勇気をもらってさ
まざまなことに取り組むことが
できたのではないかと思ってい
ます。コロナ禍で4年も活動が

できなかつたにもかかわらず、
お花見では多くの方が集って美
味しい肉を食べながら情報交流
したり、子どもたちは遊んだり
と楽しい一日を過ごすことが
できました。これからも細々と息
の長い活動を続けようと実行委
員のみなさんと話しました。
コロナ禍で忘れてしまったもの
数日前にあるグループホーム
の施設長さんと話をする機会が
ありました。その施設長さんの
話の中で、自分の法人や事業の
歴史を職員に伝えられなかった
ことが、今考えると大きな損失
だったと話されています。こ
れまで携わってきた多くの人た
ちがずっと繋いできた想いやや
れなかつた悔しさなどさまざま
な想いが積み重なって事業が成
り立っているし、利用者さんと
の信頼関係が築かれてきました。
コロナ感染で活動が縮小せざる
を得ない状況が続く、スタッフ

も変わり今だけの事業内容や利
用者の姿を見ていると分からな
いことが多いと思います。例え
ば、コロナ前は事業所で一泊旅
行は年間行事のメインでした。
利用者やスタッフが日中活動だ
けの姿だけでなく、一緒に夕食
を食べたりお風呂に入ったりさ
らに宴会やカラオケで楽しむこ
とで、親睦を深めてきました。
また、以前は今のようグルー
プホームがなかったため家族に
とつても宿泊旅行は息抜きにな
る行事でもありました。このよ
うに一つひとつの取り組みには、
携わってきたスタッフ、利用者、
家族の想いがあります。コロナ
がまだまだ終息はしていません
が、これまで大切にしてきた取
り組みをしっかりと振り返って復
活させていきたいものです。

特集

わたしの抱負
〜こんな1年にしたい〜



めざせ! 書道家



創作活動燃えています



愛読書は鉄道ジャーナル



今年度もびゅあアート展入賞めざします



注文したコーヒーを待つ至福のひと時



レクにいっぱい行きたいな〜



刺繍職人〜コースターいっぱい作って販売します

なかまの家



いろいろな和紙を作りたい



みんなと仲良くおしごとがんばります



さき織りのしごとがんばるぞ



「手芸とボンボンとカフェのおしごとたのしかったよ～2023年もたのしくがんばります！」



からだをいっぱい動かしたい

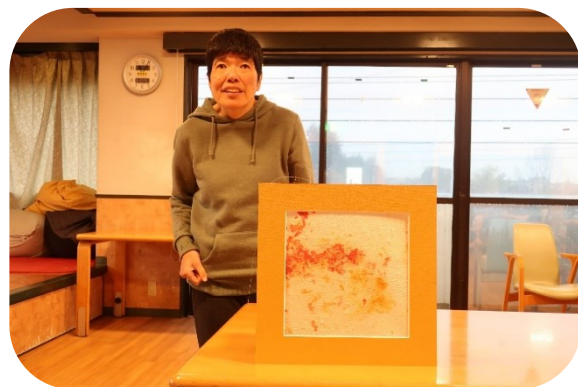


たくさん身体を動かしたい！

活動センターかなえ



元気いっぱい!

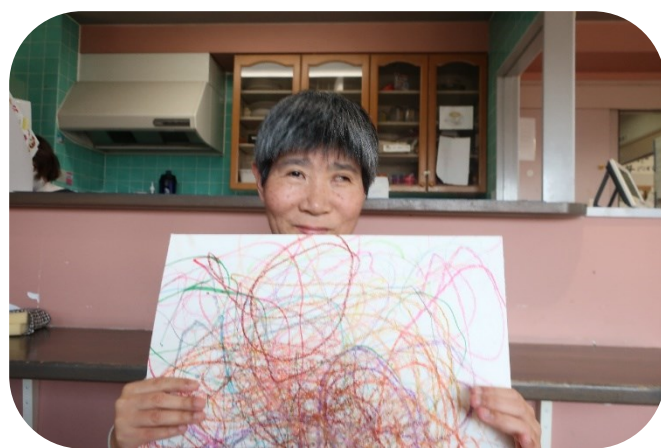


楽しく美味しく



今年も美味しい珈琲が飲みたい!

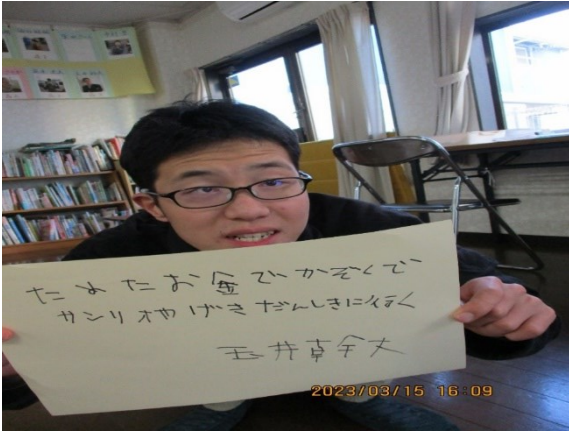
のぞみの家



元気にいっぱい動くぞ!



絵画を広めるぞ!



ためたお金で家族とおでかけ



お仕事を頑張りたいです。ポーリングもがんばるぞ!



日本橋～東海道を歩いてみたい

このみ

また、おやつ作りしたい



作業の木工班をがんばります!



想像の翼を広げて…色々な遊びを考えて楽しく過ごすぞ!

のぞみの家 作品展

二〇二三年二月にスペース105にて、のぞみの家の作品展を開催しました。

今年の作品展は、「のぞみの活動、利用者を知ってもらおう。気持ちを表現した作品を通して地域や人と繋がる」という目的でおこないました。コロナ禍での開催も二回目となり、コロナ対策をおこないながら安全に実施しました。チャレンジ班はその時の気持ちを書に表す人、絵画、今年の三大ニュースと三者三様。おひさま班は「今年はこれ!」というとびっきりの絵画を出展。たんぼぼ班は日頃活動で作っている和紙にテーマを付けて製作しました。各班それぞれの特徴をいかした作品となり、多くの来場者に見て頂くことが出来ました。



三月には初の試みでおひさま班がのぞみの家の敷地内でプチ作品展をおこないました。のぞみの家の事をより地域に広げるために実施しました。当日はおひさま班の保護者にもお知らせし、普段なかなか見られない絵を描いている所を披露しながらの開催でした。普段の活動とは違い、ギャラリイがある絵画活動は少し緊張した表情の方や初めてお家の方に見てもらい大喜びの中の絵画となりました。事前のチラシ配布もあり、ご近所の方やたまたま通った方も足を止めてくれました。今後も定期的に開催できるように絵画に力を入れていきます!

入職式

二〇二三年度の社会福祉法人イリアンス入職式を報告します。今年度は二名の職員を迎えることが出来ました。理事長挨拶の後に一人ずつ抱負を発表してもらいました。すでに新人研修を経て現場に入って頑張っています。まだまだ覚えることがたくさんかと思いますが、それぞれの部署で力を発揮していくことを願います。新たな職員は現場にも新しい風を運んでくれることを願っています。



前列左から(新人職員・理事長・新人職員)



ご寄付をいただきました(3月末まで)

法人各施設にご寄付をいただいております。誠にありがとうございました。

いただいたご寄付は法人各施設の充実や、将来構想の資金として大切に使用させていただきます。

藤田祐子様 小寺あずみ様 梅原雅子様

ありがとうございます。

社会福祉法人イリアンソス

●のぞみの家

東久留米市下里2-7-18

042-473-9027

042-473-9036 (F)

nozomi@iriansos.or.jp

●活動センターかなえ

東久留米市南沢2-20-51

042-452-6405

042-452-6415 (F)

kanae@iriansos.or.jp

●なかまの家

東久留米市中央町2-1-47

042-472-7130

042-444-3722 (F)

nakama@iriansos.or.jp

●生活寮「うみ」「そら」

東久留米市下里4-2-7

042-476-3400 (F兼)

sora@iriansos.or.jp

●生活寮「にじ」「かぜ」

東久留米市下里5-10-10

042-420-9943

kaze@iriansos.or.jp

●このみ

東久留米市幸町3-8-23

042-473-9667

konomi@iriansos.or.jp

《発行》

特定非営利法人障害者団体定期刊行物協会

〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷3-1-1

ヴェルドゥーラ祖師谷102号室

Tel 03-6277-9611/Fax 03-6277-9555

《企画、編集》

社会福祉法人 イリアンソス

〒203-0043 東京都東久留米市下里2-7-18

Tel 042-473-9027/Fax 042-473-9036

《編集委員》

磯部光孝・小林玄斎・斎藤加奈子・斎藤尚志

多田由美・津田雪枝・疋田史江・室澤隼也・吉田遊佑

※ホームページからもご覧いただけます。



定価100円

表紙の写真 「のぞみの家」(生活介護)

作品展のようすです。今年度、初めての試みとして屋外に作品を出して展示しました。快晴の中、鮮やかな色が映えました。